

開 講 年 次	4 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講 義
授業科目(英文)	学校経営と学校図書館（School management and school library）						科目分類	司書教諭科目	
担 当 教 員	石上 七穂								
履 修 条 件	前提科目	なし							
	そ の 他	なし							
授業概要： ・学校経営に関する諸事項について理解する。 ・学校図書館の経営に関する諸事項を学び、学校図書館の理念や役割、施設・設備のあり方、司書教諭の任務と役割など、必要な基本的内容を理解する。 ・学校図書館の授業利用、サービスの向上、学校図書館の発展と内外の協力体制について学ぶ。									
授業目標： ・学校図書館の教育的意義や経営など全般の事項について理解する。 ・学校図書館の歴史と現状に対する理解を深めながら学校図書館の将来的あり方を理解する。									
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）									
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成				学びに向かう力・人間性の涵養		
◎			○						
授業計画、事前学習・事後学習、形式									
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態	
1	学校の設置、学校の組織と運営について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
2	教育課程について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
3	教職員と学校事務と財務について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
4	教育行政と学校図書館について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
5	学校図書館の歴史と現状について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
6	学校図書館の現状について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
7	学校図書館の理念と教育的意義について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
8	学校教育に果たす図書館の役割について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
9	学校図書館の経営(人、施設、資料、予算、評価等)について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
10	学校図書館メディアの選択と管理、提供について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
11	学校図書館のサービスの向上について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
12	司書教諭の役割と校内の協力体制と研修について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
13	学校図書館活動について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
14	学校図書館の相互協力とネットワークについて					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
15	学校図書館の発展と課題について					事前：教本を読む 事後：授業のノート整理		講義と演習	
教本：参考文献： 『学校図書館入門』渡辺暢惠著、ミネルヴァ書房、¥2,625『学校経営と学校図書館』山本順一著、学文社、¥1,890									
成績評価の方法、評価基準： 授業参加状況等（40％）、小テスト・レポート等（20％）、定期試験（40％）等で総合評価する。									
学生へのアドバイス： 資格科目なので怠ることなく勉強すること。									
オフィスアワー： 木曜日。総合研究センター（3号館7階、3716）									

開 講 年 次	3 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講 義
授業科目(英文)	学校図書館メディアの構成（School Libraries and Media）						科目分類	司書教諭科目	
担 当 教 員	鈴木 秀顕								
履 修 条 件	前提科目	司書教諭資格関連科目を履修済もしくは履修中であること。							
	そ の 他	なし							
授業概要： 学校図書館司書教諭講習科目。当科目は、学校図書館メディアの構成に関する理解と実務能力の育成、および司書教諭としての基本的な知識を獲得すること。									
授業目標： 1．学校図書館メディアの種類と特性を知り、学習目標に対応したコレクション形成ができる 2．学校図書館で資料をわかりやすく利用させるための組織化（分類・目録）することの基礎を学ぶことができる。 3．使いやすい学校図書館運用を理解することができる。									
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）									
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成				学びに向かう力・人間性の涵養		
◎			○						
授業計画、事前学習・事後学習、形式									
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態	
1	ガイダンス（情報とメディアの教育的意義と役割）					事前：精読(9-13) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
2	高度情報社会における学校教育と学校図書館メディア(学習環境の変化)					事前：精読(14-18) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
3	学校図書館メディアの種類と特性① (印刷メディア)					事前：精読(19-22) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
4	学校図書館メディアの種類と特性② (視聴覚メディア、映像メディア、電子メディア、ファイル資料)					事前：精読(22-27) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
5	学校図書館メディアの種類と特性③ (特別な教育的ニーズに応える学校図書館メディア)					事前：精読(27-37) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
6	学校経営と学校図書館					事前：精読(2-10) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
7	教育行政と学校図書館・司書の配置					事前：精読(11-18) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
8	課題と対策・環境づくり					事前：精読(19-22) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
9	年間計画・評価と改善					事前：精読(23-25) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
10	校内の協力体制・研修					事前：精読(26-29) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
11	図書委員会・図書ボランティア					事前：精読(30-33) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
12	特別支援学校・他の学校図書館との連携					事前：精読(34-38) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
13	図書予算の確保					事前：精読(39-40) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
14	学校図書館実習					事前：なし 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分	
15	学習図書館実習・報告					事前：復習 事後：まとめ		講義30分 ディスカッション60分	
教本： 『学校図書館入門』（ミネルヴァ書房）					参考文献： 『学校図書館メディアの構成』（全国学校図書館協議会）				
成績評価の方法、評価基準： 授業参加状況等（30％）、小テスト・レポート等（20％）、定期試験（50％）等で総合評価する。									
学生へのアドバイス： 図書館に足を運び、どのように整理されているかを観察するようにしてください。									
オフィスアワー： 初回講義日に伝える。									

開 講 年 次	4 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講 義
授業科目(英文)	学習指導と学校図書館（The Couse of Study and School Library）						科目分類	司書教諭科目	
担 当 教 員	石上 七穂								
履 修 条 件	前提科目	なし							
	そ の 他	なし							
授業概要： ・学校図書館の目的と意義を学ぶ ・学校図書館メディアの活用例を学び、演習する ・情報サービスのあり方と司書教諭の役割を学ぶ									
授業目標： ・「学校図書館法」の主旨を認識し、図書館教育の全体計画に生かす ・「学習情報センター」の機能を生かす環境づくりと司書教諭の役割を学ぶ ・児童生徒の情報活用能力を育むための実際例を演習で身に付ける									
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）									
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成				学びに向かう力・人間性の涵養		
◎							○		
授業計画、事前学習・事後学習、形式									
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態	
1	学校図書館の意義と目的を学び、学校図書館と学習との関係を学ぶ					事前：なし 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
2	図書館活用教育とはどのようなことか、全体像の具体例					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
3	学校全体で取り組む図書館教育の全体計画(1)					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
4	学校全体で取り組む図書館教育の全体計画(2)					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
5	「読書センター」と「学習情報センター」の要件					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
6	発達段階に応じた学校図書館メディアのあり方					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、演習 30 分	
7	研究校を参観する（VTR）					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		演習 60 分、講評 30 分	
8	公共図書館とのネットワーク					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
9	学校図書館メディア活用の実事例 1（テーマと情報検索の計画）					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
10	学校図書館メディア活用の実事例 2（情報・資料の探索・収集）					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
11	学校図書館メディア活用の実事例 3（情報資料の活用）					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
12	学習指導における図書管理利用の実際					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
13	学習活動を支える情報サービス(レファレンスサービス)					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
14	学習指導と司書教諭の役割					事前：教材を読んで臨む 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
15	教師への支援と働きかけ まとめ					事前：なし 事後：ノートにまとめ提出		講義 60 分、 話し合い 30 分	
教本： 『学習指導・調べ学習と学校図書館』（改訂版、大串夏身 編著 青弓社）					参考文献： 教室で指示します。				
成績評価の方法、評価基準：到達目標が達成できたかを評価します。 授業参加状況等（40%）、ノート等（20%）、定期試験（40%）等で総合評価します。									
学生へのアドバイス： 教本と中・高等学校国語教科書で教材研究をします。予習でよく読んでき、毎回のテーマを具体的に論じましょう。									
オフィスアワー： 木曜昼休み 総合研究センター（3号館7階、3716）									

開 講 年 次	3 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講 義	
授業科目(英文)	情報メディアの活用（Using of Medium）						科目分類	司書教諭科目		
担 当 教 員	鈴木 秀顕									
履 修 条 件	前提科目	なし								
	そ の 他	なし								
授業概要： 情報メディア社会は刻々と変化してきており、メディアを通して流れてくる情報は質量ともに増加している。それら情報に対する公正な判断を育成するために学校図書館と情報メディアの分野横断的な活用の基礎を学び、実践力を養う。										
授業目標： 情報社会を理解し、それら活用、教育へ対応する力を養う。										
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）										
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成				学びに向かう力・人間性の涵養			
			◎				○			
授業計画、事前学習・事後学習、形式										
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態		
1	ガイダンス（情報化が進展する社会）					事前：精読(14-26) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
2	教育・学習理論と情報メディアの活用					事前：精読(27-46) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
3	教育メディアの歴史(1)					事前：精読(47-57) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
4	教育メディアの歴史(2)					事前：精読(58-66) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
5	情報メディアの種類と特性(1)					事前：精読(67-81) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
6	情報メディアの種類と特性(2)					事前：精読(82-94) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
7	学校におけるICTの活用					事前：精読(95-104) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
8	教育の情報化					事前：精読(8-16) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
9	情報活用能力の育成					事前：精読(18-35) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
10	ICTを活用した教材開発と指導法					事前：精読(36-53) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
11	教育データを活用した評価					事前：精読(54-63) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
12	情報モラル教育					事前：精読(64-80) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
13	ICTを活用した特別支援教育					事前：精読(82-91) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
14	校務の情報化とICT環境の整備					事前：精読(92-109) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
15	遠隔・オンライン教育					事前：精読(110-119) 事後：復習		講義30分 ディスカッション60分		
教本： 『情報メディアの活用』（全国学校図書館協議会） 『情報通信技術を活用した教育の理論および方法』（実教出版）										参考文献： 『高校生が教わる「情報社会」の授業が3時間でわかる本』（翔泳社） 『情報メディア論』（講談社）
成績評価の方法、評価基準： 授業参加状況等（30%）、小テスト・レポート等（20%）、定期試験（50%）等で総合評価する。										
学生へのアドバイス： 司書教諭の環境はどんどんと変化しています。実例を探求しながらの講義になっていきますので、積極的に参加してください。										
オフィスアワー： 初回講義日に伝える。										